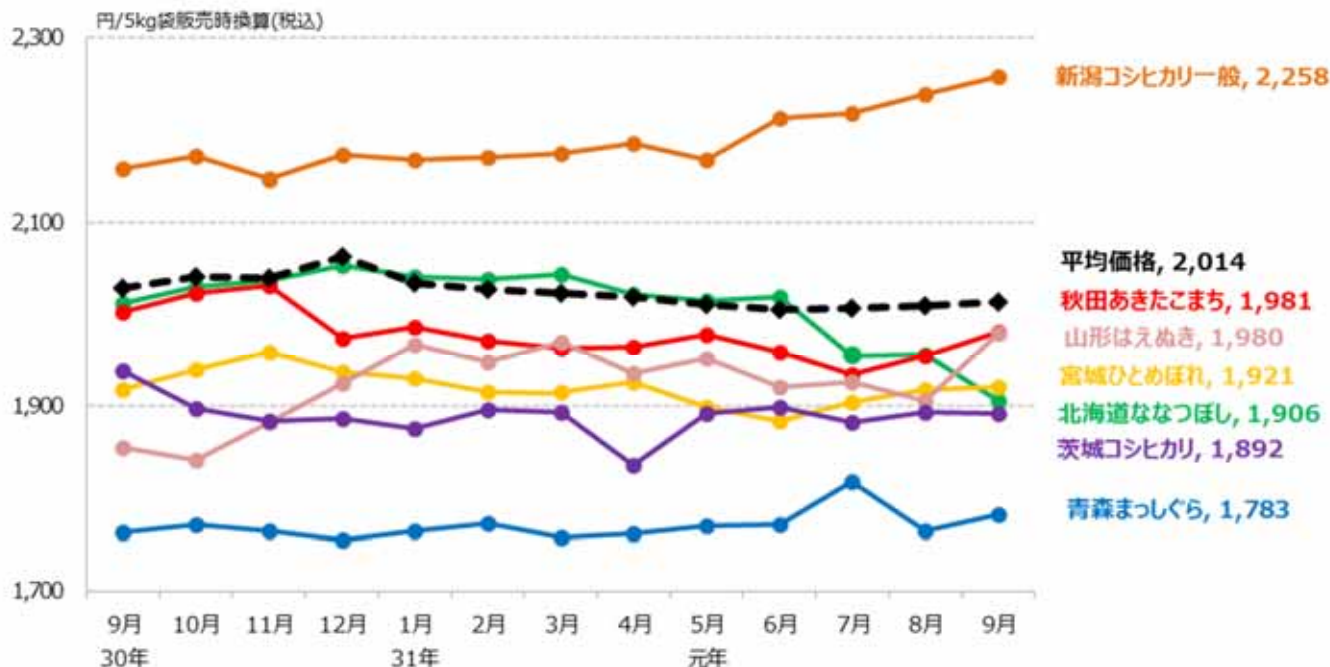


(7) 小売価格の推移（POSデータ）

- 令和元年9月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比＋4円（＋0.2%）、対前年同月比▲15円（▲0.7%）の2,014円。



円/5kg袋販売時換算(税込)

	北海道 ななつぼし	青森 まっしぐら	宮城 ひとめぼれ	秋田 あきたこまち	山形 はえぬき	茨城 コシヒカリ	新潟 コシヒカリ一般	全POS取引 平均価格
平成30年9月	2,012	1,763	1,918	2,003	1,855	1,938	2,157	2,029
10月	2,030	1,771	1,940	2,024	1,841	1,898	2,171	2,042
11月	2,037	1,765	1,959	2,031	1,883	1,884	2,146	2,039
12月	2,053	1,755	1,937	1,974	1,924	1,887	2,173	2,063
平成31年1月	2,041	1,764	1,931	1,986	1,967	1,876	2,168	2,035
2月	2,038	1,772	1,915	1,971	1,948	1,896	2,170	2,027
3月	2,044	1,757	1,915	1,963	1,970	1,894	2,174	2,024
4月	2,022	1,762	1,926	1,965	1,936	1,835	2,186	2,019
令和元年5月	2,015	1,770	1,899	1,978	1,952	1,892	2,168	2,011
6月	2,019	1,771	1,884	1,959	1,921	1,899	2,213	2,006
7月	1,955	1,818	1,904	1,935	1,927	1,883	2,219	2,007
8月	1,956	1,765	1,918	1,955	1,905	1,894	2,239	2,010
9月	1,906	1,783	1,921	1,981	1,980	1,892	2,258	2,014
対前月比	▲ 2.6%	+ 1.0%	+ 0.2%	+ 1.3%	+ 3.9%	▲ 0.1%	+ 0.8%	+ 0.2%
対前年同月比	▲ 5.3%	+ 1.1%	+ 0.2%	▲ 1.1%	+ 6.7%	▲ 2.4%	+ 4.7%	▲ 0.7%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

(注1) (株) KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,031店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

(注2) POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

(注3) POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

(注4) 全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。

(注5) 価格に含む消費税は8%である。

Ⅷ 輸入米（MA米、CPTPP・国別枠）の動向

1 MA米（一般、SBS）

（１） MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	－	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	－	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	－	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	15	8	767	701	59
令和元年度 (10月末現在)	102	107	27	0	1	238	220	18

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」

※SBS輸入数量の単位は千実トン。

注：1 各年度の輸入契約数量の推移。

2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。

3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

（参考）MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1～0.2千トン程度

(2) 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果
(平成31年度・令和元年度)

(単位：実トン)

販売期間	うち	販売期間	もち
平成31年4～6月分 (長期)	23,199	平成31年4～令和元年7月分	2,870
4月分 (月別)	322	令和元年8～11月分	3,153
令和元年5月分 (月別)	326	令和元年12～令和2年3月分	
6月分 (月別)	432		
7～9月分 (長期)	23,160		
7月分 (月別)	220		
8月分 (月別)	458		
9月分 (月別)	633		
10～12月分 (長期)			
10月分 (月別)			
11月分 (月別)			
12月分 (月別)			
令和2年1～3月分 (長期)			
1月分 (月別)			
2月分 (月別)			
3月分 (月別)			
小 計	48,750	小 計	6,023
合計	54,773		

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

(3) SBS輸入米の見積合せ結果（令和元年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和元年9月27日)	一般米	5,252	276	40		80		260		501		6,409
	砕精米	2,200		200		100						2,500
	計	7,452	276	240								8,909
第2回 (令和元年10月30日)	一般米	4,944	140	761		280				941		7,066
	砕精米	1,800		700								2,500
	計	6,744	140	1,461		280		0		941		9,566
令和元年度計	一般米	10,196	416	801	0	360	0	260	0	1,442	0	13,475
	砕精米	4,000	0	900	0	100	0	0	0	0	0	5,000
	計	14,196	416	1,701	0	460	0	260	0	1,442	0	18,475
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	559	0	767	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	0	0	100	0	4,316
	計	662	3,142	5,272	324	780	0	559	0	867	0	11,606

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」の平成26年度～令和元年度

2 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和元年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 (令和元年5月28・29日)	一般米	856	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	856	
第2回 (令和元年7月23日)	一般米	803	
	加工品・調製品		
	砕精米	60	
	計	863	
第3回 (令和元年9月24・25日)	一般米	800	
	加工品・調製品		
	砕精米	40	
	計	840	
令和元年度計	一般米	2,459	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	100	0
	計	2,559	0
平成30年度計 (参考)	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

Ⅸ その他

(1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果

- 令和元年産水稻うるち玄米の令和元年9月30日現在の検査数量は、165万トン。
- 1等米比率は、67.6%。

① 検査数量の推移（累計）

単位：千トン

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,764
30	21	297	1,446	3,328	3,782	3,962	4,075	4,199	4,325	
参考：前年比	159%	122%	99%	102%	98%	98%	98%	98%	98%	
元		193	1,651							
参考：前年比		65%	114%							

注：1 各月末時点の検査数量である。

2 生産年の7月から翌年3月までは速報値、翌年10月は確定値である。

3 「農林水産大臣の定める様式及び農林水産大臣の定める期日」の告示に基づく報告を集計（公表）したものである。

② 検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、%

年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		1等	2等	3等	規格外	1等	2等	3等	規格外
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29	4,763,550	3,919,530	676,990	74,247	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30(注3)	4,325,097	3,481,288	689,287	79,169	75,353	80.5	15.9	1.8	1.7
元(注4)	1,651,339	1,116,249	464,128	58,293	12,668	67.6	28.1	3.5	0.8

資料：農林水産省とりまとめ

注：1 等級比率は、1等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合である。

2 29年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。

3 30年産米については、平成31年3月31日現在（速報値）。

4 元年産米については、令和元年9月30日現在（速報値）。

これまで、本資料に掲載していた以下の情報については、別冊「資料編」に掲載いたしました。

(別冊)「資料編」の目次

I	契約・在庫情報	
(1)	平成29・30年産の産地別民間在庫の推移 (うるち米、平成30年7月末から令和元年6月末) (速報)	1
(2)	産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26～29年産)	9
(3)	平成29・30年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)	11
II	米の価格情報	
(1)	米の相対取引価格の推移(通年平均価格)	25
(2)	業者間取引の状況	28
	① 日本コメ市場(随時取引の結果)	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス(取引会の結果)	
	③ (株)加工用米取引センターの取引結果	
	④ 米の現物市場の状況	
III	主食用米以外(輸出を含む)	
(1)	加工用米及び新規需要米等の生産状況	31
	① 加工用米の生産量(平成17～令和元年産)	
	② 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20～令和元年産)	
	③ 令和元年産 都道府県別の生産状況	
(2)	飼料用米のマッチングの取組状況、 配合飼料メーカーへの飼料用の供給等	33
(3)	政府備蓄米の運営 備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23～令和元年産)	34
(4)	商業用の米の輸出数量及び金額の推移	35
(5)	2018年の主な増加要因(輸出業者等からのヒアリング結果による)	36
(6)	米菓の輸出数量及び金額の推移	37
(7)	日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移	38
IV	消費動向	
(1)	米の消費動向(米穀機構による調査)	39
(2)	小売価格の推移(POSデータ、主な銘柄)	42
V	その他	
(1)	米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和元年10月分)	43
(2)	平成30年産水陸稲の収穫量	48
(3)	水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国)	52
(4)	水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況、 10a 当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移(全国)	52
(5)	年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移	55
(6)	麦・大豆の需要情報	57
	① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果	
	② 30年産大豆の産地別銘柄別入札結果	
(7)	野菜等の需給情報	64
(8)	米の安定取引研究会報告書の概要	68

○「米に関するマンスリーレポート」を更にご活用いただくため、読み解き方などを解説した特集ページ「米に関するマンスリーレポート解説特集『ここが分からない！マンレポ』」を開設しました！

http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中！ご登録お待ちしております！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

「米の安定取引に向けた取組」へのお願い

—産地と実需の結び付きによる安定的な取引関係の構築—

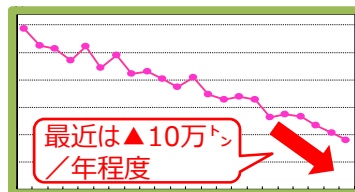
「需給・価格の安定」のために皆様へお願いしたい3つのこと

- 1 産地側から実需者側に直接販売するルート of 拡大
- 2 産地と実需者間での複数年契約等の事前契約 of 拡大
- 3 用途毎の品質や価格ニーズに対応するため、多収品種の導入等による生産コストの低減

米をめぐる現状

① 米の消費動向

- ・ 我が国の主食用米の消費量は、今後、毎年「約10万トン」程度減少すると見込まれる



② 中食・外食事業者からの声

- ・ 消費量が減少見込みの中、中食・外食向けの米の消費量は堅調に推移
- ・ 一方、中食・外食事業者からは希望する価格帯での調達が難しくなったとの声

米消費における 中食・外食割合

H9 18.9%

H30 30.0%

③ 新たな需要の拡大

- ・ 米粉用や輸出用などの新たな需要が拡大する傾向



こうした状況の中で、今後とも米の需給及び価格の安定を図っていくためには、

- ① 産地側が実需者側のニーズを的確に把握すること
- ② 産地側と実需者側がしっかりと結び付いた安定的な取引関係を構築すること

が重要です。

上記3つの取組実施により、全体での需給の均衡と、産地は「安定的な販路の確保」、実需者は「安定的な仕入れの確保」が、それぞれ図られるものと考えられます。

農林水産省による取組支援

- 農林水産省としても、こうした取組を後押しするため、実需者と産地のマッチング支援や複数年契約の拡大、一般家庭用向け及び中食・外食向けの米の販売動向等の情報提供、各産地における多収性品種の導入等の取組の推進等に努めます。

実需者と産地のマッチングイベント 「米マッチングフェア」への支援

米マッチングフェア 2019

2019年8月・9月 2020年1月・2月
東京2回・大阪2回

業務用途に特化した米の商談会

「米に関するマンスリーレポート」での情報提供

○ 事前契約及び複数年契約数量

播種前時点での事前契約の状況を都道府県別に調査・公表

都道府県	令和元年産米 (平成31年3月末現在)		平成30年産米 (平成30年3月末現在)		対前年同月差	
	事前契約 数量 ①	うち複数 年契約 ②	事前契約 数量 ③	うち複数 年契約 ④	事前契約 数量 ①-③	うち複数 年契約 ②-④
北海道	153.7	153.7	133.6	133.6	20.0	20.0
青森	10.2	10.2	35.0	35.0	▲24.8	▲24.8

○ 中食・外食向けの米の仕入状況調査

中食・外食事業者に対して、米の仕入数量・価格の動向を調査・公表

仕入数量の動向（平成31年1～3月）

前年からの 変動	10%以上 増加	5～9% 増加	1～4% 増加	前年同	1～4% 減少	5～9% 減少	10%以上 減少
企業数割合	18%	14%	20%	14%	10%	10%	15%

生産コスト低減に向けた具体的な取組

省力栽培技術の導入

直播栽培（育苗・田植えを省略）

（実証例）
労働時間
18.4時間/10a→13.8時間/10a
（移植）（直播）
費用（利子・地代は含まない）
103千円/10a→93千円/10a
（移植）（直播）
無人への活用も可能

スマート農業技術の活用

営農管理システムの導入等により、作業のムダを見つけて手順を改善（実証例）
田植え作業時間
1.62時間/10a→1.15時間/10a
（移植作業時間の削減）

密苗栽培

育苗箱数を減らせるため、資材費の低減が可能。
苗継ぎも少なく省力的
（実証例）育苗箱数 15～18箱/10a→5～6箱/10a

大規模経営に適合した品種

多収品種

単収
530kg/10a→700kg/10a
（全国平均）（多収栽培で単収増）
生産費
16千円/60kg（全国平均）
→13千円/60kg（試算）

作期の異なる品種の組み合わせ

作期を分散することで、同じ人数で作付を拡大でき、機械稼働率も向上
1日あたりの作業量
作業が短期間に集中
作業ピークを分散
コシヒカリ 登熟時期
ももやま 登熟時期

生産資材費の低減

農業生産資材価格の引下げ

- 生産資材業界の再編や法規制等の見直し
- 生産資材価格や取引条件等の「見える化」

農業機械の低コスト仕様

- 基本性能の絞り込み
- 耐久性の向上

⇒基本性能を絞った海外向けモデルの国内展開等
（標準モデル比2～3割の低価格化）

肥料コストの低減

- 土壌診断に基づく施肥量の適正化（肥料の自家配合等）、精密可変施肥
- フレキシブルコンテナの利用（機械化による省力化等）

⇒土壌改良資材のフレコン利用（20kg袋比7%低価格化）

合理的な農薬使用

- 発生予防による効果的かつ効率的防除
- 輪作体系や抵抗性品種の導入等の多様な手法を組み合わせた防除（IPM）

⇒化学農薬使用量抑制

未利用資源の活用

- 鶏糞焼却灰等の利用

⇒従来品比7%低価格化

○問い合わせ先 農林水産省政策統括官付農産企画課米穀需給班
代表：03-3502-8111（内線4975） 直通：03-6738-8973

やっぱりごはんでしょ！



MAFF
農林水産省



米の消費拡大情報サイト「やっぱりごはんでしょ！」では、

● **皆さんがごはんをもっと好きになる** ● **もっと食べたくなる** 情報をお届けします！

URL : <http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatsu/gohan.html>



掲 載 内 容

企業等における企画・イベントに関する情報

米の消費拡大につながる

- ・ おかわり無料
- ・ 大盛り無料
- ・ 新製品の開発
- ・ 食育

を実施する企業等を紹介！

●主な掲載企業（五十音順）

大戸屋、株式会社 結わえる、高知食糧、ココス、ごはん処喜楽や、すき家、セブンイレブン、象印食堂、タイガー魔法瓶、太成食品、東洋ライス、鳥元、永谷園、ファミリーマート、ほっともっと、松のや・松乃家・チキン亭、やよい軒、ヤンマーアグリノベーション（株）、吉野家、和食カフェGOHANYA' GOHAN、SABAR PLUS（なんばCITY店、上野マルイ店）、SBIアラプロモ株式会社 など

“ごはん食”に関するお店情報

農林水産省 × 食べログ

全国各地のごはん大盛り、おかわり無料のお店をご紹介します

農林水産省 × ぐるなび

地域ならではの“ごはん食”が食べられるお店をご紹介します

お米の栄養や、お米を使ったレシピに関する情報

掲載サイト（一部抜粋）

ごはん健康

- お米と健康
- ごはんを中心とした日本型食生活のススメ
- ごはん彩々（全米販）
- 3・1・2弁当箱法
- 早寝早起き朝ごはん全国協議会

ごはんレシピ等

- 和食文化推進協議会
- コメレシピ
- 妊婦さんのためのレシピ紹介
- 農林水産省の公式キッチン（クックパッド）
- お米を使った料理・朝ごはんネット
- 6月30日は夏越ごはん

SNSでも情報発信中！

Twitter/Facebookでは、今話題のキャンペーン情報や、お店の取材記事などを紹介しています！



【 Twitterアカウント 】
@MAFF_GOHAN



【 Facebookアカウント 】
@MAFFGOHAN

目印はこのアイコン写真！



掲載情報のご紹介

【お知らせ】

- ・ Facebookでは 10月から毎週お米に関わる情報発信を始めました

～10月のFacebook投稿内容のご紹介～

第1週

イベント探訪報告～“おむすびパフォーマンス”で日本産米の魅力を発信！



第2週

今週の美味しい♪ ～しっかり食べて、美しく！玄米の魅力を活かしたレストラン～



第3週

今週の美味しい♪～フルーツカクテルの名店で頂く「土鍋ごはん」



第4週

直撃インタビュー！～コーヒー器具の有名企業がなぜ、ごはん釜の開発を？



新規投稿は毎週月曜日に行いますので是非ご覧ください！

URL : <https://www.facebook.com/maffgohan>

「お米の輸出動画」 配信中！

お米の新しい市場を開拓！ 「日本産米を世界へ」について

お米の輸出の可能性や農水省の輸出促進の取組について解説した動画を配信中！

「どうして今、お米を輸出するの？」「今、生産者や事業者の人はどんなことに取り組んでいるの？」という疑問にお答えします！

1. コメ輸出を取り巻く現状

国内消費量の減少、海外における日本食レストランの拡大、日本産米の輸出状況、中国向け輸出の指定施設の追加等コメ輸出に関する最近の動きを紹介。



「日本産米を世界へ」



3. 輸出産地及び輸出事業者へのインタビュー

現在輸出用の米を生産し、海外での販売に取り組む生産者に対するインタビュー、コメ・コメ加工品の輸出に取り組む事業者のインタビュー等を紹介。



「日本産米を世界へ！輸出への挑戦 生産者たちの声」



2. 輸出手続きに関する情報

コメ輸出に関する手続きの流れ、植物検疫、残留農薬基準、原発事故に係る輸入規制に関する注意点、各手続きに関する問い合わせ先を紹介。



「日本産米を世界へ」(①手続き一般編)



4. 日本産米の海外における需要情報

海外における日本産米の販売事例や求められている米等について、海外のレストランへのインタビューを紹介。



お米の新しい市場を開拓！【おむすび権米衛 in USA】日本産米おにぎりの普及に向けて



QRコードを掲載した動画以外についても、海外レストランでの取組事例や国内の事業者・生産者の取組事例等について、様々な動画を配信しています。

農林水産省HPまたはYouTubeで公開していますので、ぜひご覧下さい！

Youtubeから見る

Youtubeの検索バナーで「お米の輸出」と検索！

お米の輸出

×



(「日本産米を世界へ」 URLはこちら)

<https://www.youtube.com/watch?v=0w4t0XwHCm4>

農林水産省HPから見る

トップページの「キーワード」にある「米の輸出」をクリック！

(ホーム > 政策統括官 > 米(稲)・麦・大豆 > 米の輸出について)



キーワードの「米の輸出」をクリックすると
「米の輸出について」のページに移動します！

① キーワード

> 農業競争力強化支援法 > SDGs・食品産業 > 「まるみえアグリ」 > 農業技術総合ポータル > 収入保険制度
> 米政策改革 > 米の輸出 > 食料自給率・食料自給力 > 輸出促進/GFP(外部リンク) > 経営所得安定対策
> 農地中間管理機構 > G20農業 > 米S規格 > 和食 > 農業女子 > ディスカバー農山村(わら)の宝
> 食農 > GAP-info > プラント・ファクトリー > スマート農業 > G20新農業大臣会合 > 農政情報



URL:http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html

お問合せ先：農林水産省政策統括官付農産企画課
(TEL：03-6738-6069)